

おけさ柿情報 No. 1

JA 佐渡営農事業部

【霜対策情報】

4月に入ると、催芽・発芽時期に凍霜害を受ける危険性が高まります。今後の気温推移は、平年並みから早い見込みですので、霜の被害に会わないよう、芽の動きを観察して霜対策やその後の管理を適期におこないましょう。

1 霜の発生しやすい条件（常発地は特に注意!!）

- ①場所：窪地や傾斜地の谷底などで冷気がたまりやすい場所に発生しやすい。
- ②天候：夜10時頃、晴天・無風（星が“またたいて”見える）で、気温が2℃以下なら要注意！（霜注意報が午前中に発表された場合は、相互に連絡をとり霜害に備える。）

2 霜害防止の有効対策

(1) まずは事前対策を実施しましょう！！

- 敷きわらや籾殻などはできるだけ取り除きましょう！
（敷きわらなどは地温が上がりやすく、霜が降りやすくなります。）
- 防風林の下枝など、地表面の空気の流れを邪魔するものをなくして風通しを確保し防風ネットは最下段をめくりあげて留め置くと良いでしょう。
- 防霜ファンのある畑は、必ずセンサーやファンの動作確認をしておきましょう。

(2) 燃焼による防止対策について・・・必ずほ場に温度計を設置しておきましょう！

- 燃焼物の準備
 - ・一斗缶に灯油で湿らせた廃材や籾殻を設置する場合 20か所以上／10a万が一に備えて、消火器や消火用の水もお忘れなく！
- 園地の地上1m付近の気温が2℃を下回ったら着火して、燃料を補充しながら日の出まで燃焼を維持してください。一番気温が下がるのが日の出前になるので、日の出1～2時間前には燃焼を開始しましょう。
- 燃焼による防止対策を実施する場合は事前に消防署へ届出を行いましょ！

(3) 霜予防資材の利用

- 霜ガード（散布資材） 10kg入り 5,159円（税込）
 - ・4月上旬の発芽期から4月いっぱい霜の注意が必要です。
 - ・霜が予想される時期に5～7日間隔で数回散布しましょう。
 - ・柿の生育状態をみながら使用してください。

50倍液を10aあたり200リットル散布。

注文から納品までに10日程度必要なため、購入希望の方は早めに各営農農機課窓口へ注文をお願いします。

天気予報の霜注意報に注意する



お問い合わせ先								
各営農農機課TEL								
相	川	74-2061	新	穂	22-3137	小	木	86-3711
佐	和	57-2522	畑	野	66-3133	赤	泊	87-3133
金	井	63-3217	真	野	55-1030	両	津	27-5119